

職員による自己評価

A環境面

限られたスペースだが環境を日によって変化させ、児童にとって過ごしやすい居場所作りに注力した。

B児童への支援内容

日々の振り返りを行う時間は十分に取れていなかったが部屋割での児童に携わった支援員から現状を共有したいと発信が飛び交うようになった。個別課題に関しては支援計画を中心により具体的な課題の提案がされたことで生活面においても役に立つことを支援にいかせた。休日や休暇などの長い支援が行える時間を有効に舌細やかな支援内容に関しては今後の課題。

C関係機関との連携

ケース会議などは自ら発足することはなかったが学校との連携、ご家庭との連携は重要と考え共有できた学校も多い。今後はどの児童、どの機関においても連携を行う働きかけをして役割を担う意識を持つことが課題。

保護者による評価

A環境面

一軒家の構造を工夫して集団の場が苦手な子どもでも安心できるような配置もしてくれて安心。

B児童への支援内容

日常生活での課題を伝えることで自立に向けた課題に一步ステップアップできた。困っている課題に対して特性をよく理解して対応してくれていることが安心できる。

C事業所からの情報発信

インスタグラム・活動内容が分かりやすく、連絡帳とは別の出来事も詳しく聞いている。

D非常対応

コロナ禍の制限のある生活の中で楽しめるプログラムを行ってくれたことで帰宅後も充実していたのか機嫌が良い。

事業所内での分析

【共通点】

色々な経験や楽しめるプログラムを実施できるようにすることで充実した時間を過ごしてほしい。個々の個性を大事に尊重しながら課題に対して望み、本人にとってもご家庭にとっても安心につながっている。

【相違点】

ご家庭においては良い評価が多いが、よりご指摘や相談をしやすい支援のレベルアップや知識につなげていきたい

分析・検討してみたて…

事業所の強み

- ・色々な経験を持てる場を増やし、経験からたくさんの選択肢が増やせるように日々の活動内容に力を注いでいる
- ・ご家庭からの悩みや課題への相談には傾聴し事業所としてできることを迅速に実践している
- ・心と体の健康のバランスに重点を置き、身体的な発散がしづらい児童への運動などを個別で継続的に行っている

事業所の改善点

- ・支援に関しての取り組みや個々の対応力はあるが、共通支援の重要性が低い場面がある
- ・インシデントに対しての意識が低いことから報告数が少ない
- ・支援員個々の支援力・知識からの仕事内容の差があり現状変化が少ない
- ・職員が課題と感じていることが多くある一方でお客様の良い評価が多く、もっとご指摘や相談をして頂ける環境づくり。お客様にも見える化。

事業所の改善への取り組み

- ・ご家庭から多く頂いた声の中にあるコロナ禍により交流の場が少なかったことに関しては状況に甘んじることなくできる形での交流や情報交換の場を考えていきたい。(手段方法の改善)
- ・個別課題に対してより他機関との連携を行い、共通支援を行う場面を増やし自己満足にならないように自立に向けた支援を充実していきたい。
- ・振り返りやインシデントから見えづらい改善点を分析し多面的に見ながら継続的に行う。
- ・支援員個々の支援力・知識へのレベルアップに向け現状を本人と確認、振り返りを行いながら必要な研修を設けて行く。

～自己評価を行って事業所としての感想など～

社会的にも日々の活動においても状況に対し臨機応変な対応力、応用力を必要と感じています。常に現状に満足せず、ご家庭、各関係機関、あらゆるジャンルからの情報収集や知識・支援の向上に努め常に皆様の声を傾聴しながら体制を改められる事業所になりたいと思います。